



# 飛躍の年をめざして

南魚沼市議会議長 小澤 実

市民のみなさまにおかれましては、新しい年を健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では大阪府北部地震、西日本を中心とする平成30年7月豪雨、猛暑、北海道胆振東部地震と多くの自然災害が発生しました。特に土砂災害に関しては、昨年10月末時点で年平均(1,106件)の約3倍に上る3,312件が発生しているという国土交通省の発表もありました。安倍総理はこれに伴い平成30年度補正(復旧・復興)、平成31年度、32年度の予算で防災・減災対策を施し、国土強靱化を進めるとのことです。関東圏の好景気が地方にも反映される事業となるので、しっかりとした予算付けを願うものであります。

昨年2月に開催された平昌オリンピックでは、当市出身の小野塚彩那選手、田中友里恵選手が日本代表として活躍されました。市内の関連スポーツ施設の利用者も大変多くなっています。触発された児童、生徒から来年の東京オリンピック、次期北京冬季オリンピックへ出場する選手が輩出されるよう期待します。

昨年2月に一般社団法人日本穀物検定協会が行った食味試験において、18年産魚沼コシヒカリが「特A」から陥落したことは当市に大き

な衝撃を与えました。さらに7月8日(日)～8月6日(月)の無降雨状態による高温干ばつ、9月には台風の影響

と、米のみならず農作物全般への影響は大きなものがありました。しかしながら、魚沼コシヒカリの食味については農業関係者の懸命な努力により、必ずや特Aに戻れるものと信じております。食味ランクの影響が懸念されていたふるさと納税では、返戻品として南魚沼産コシヒカリが全国から変わらず多くの支持を得ていることに心よりありがたく思っております。また、特産品の八色西瓜は猛暑が反映され、史上最高単価がついたと聞いております。今年も景気の良い話が聞かれますことを願ってやみません。

今年5月1日(水)には、30年間続いた「平成」が終わり、新しい元号に変わります。新しい天皇陛下が誕生し、時代が大きく動く歴史的な日となります。

また、政治でも市政に関係が深い地方統一選挙の県議会議員選挙が4月に予定されており、7月には第25回参議院議員通常選挙が行われます。県政、国政ともに新たなスタートの年となります。

今年、当市では新ごみ処理施設建設予定地の選定という大きな課題があります。そのほか、移住定住事業

でのサービス付高齢者向け住宅の建設(池田記念美術館西側の土地)、4月1日(月)より五日町・大巻小学校が統合したおおまき小学校(旧大巻中学校を改装)の開校など、各種事業や整備の実施がなされます。昨年9月議会で陳情を可決、議会から意見書を提出した小中学校へのエアコン設置について、市内小学校15校、中学校3校の普通教室への設置が決定しています。市民のみなさまの負担に配慮なるべく22人の議員一同がんばる所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。

今年が市民のみなさまにとって災害などなく安寧の年でありますことと、希望に満ち溢れた最良の年となることを心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。